

感染者の動向

| 感染者の増減 | 減少傾向 |
|----------------|-------------|
| 感染者数／日※ | 2,617人 |
| 累計感染者数 | 902万6,075人 |
| 累計死亡者数 | 12万7,909人 |
| 病床使用率 (全国・首都圏) | 37.6%・39.1% |

※過去7日移動平均(3/27), 出所:Our World in Data,保健省

行動・活動制限

| 活動制限 | あり |
|---|----|
| 実施主体 | |
| アルゼンチン連邦政府、各州政府 | |
| 具体的制限 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ディスコ、パーティ会場などの収容人数50%まで、入場に2度のワクチン接種が必要。 店舗などの屋内、混雑する場所ではマスク着用義務を継続。ブエノスアイレス市内の学校などでは、マスク着用義務を撤廃。 13歳以上は、2022年1月1日から屋内のディスコやパーティ会場、屋内外の1,000人以上のイベントへの入場、修学旅行などの団体旅行の実施には、2度のワクチン接種完了を示す「衛生パス」の提示が必要。 | |
| 日本人学校 | |
| ブエノスアイレス日本人学校、現地校などの中初等教育は対面授業を実施。 | |

日本との間の航空便

| 空港 | 稼働中 |
|--|-----|
| 欧州、米国経由 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 民間商用便は減便して運航。 アフリカ大陸諸国および保健当局指定の地域からの直行便の運行を停止。 | |

日本人に対する入国制限

| 日本人の入国 | 条件付きで可 |
|--|--------|
| 外務省渡航情報 | |
| レベル3:渡航は止めてください(渡航中止勧告) | |
| 制限措置概要 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 2022年1月29日から国籍・居住地問わず、ワクチン接種をしていない、または未接種者の入国条件を次の通りとした。：①ワクチン接種を例外と認める書類の提出、②出国前72時間以内にPCR検査または48時間前以内に抗原検査を受けて陰性証明書を提出、③入国後、検査日から7日間の隔離、④新型コロナ対応の医療保険への加入、⑤出国48時間前にオンラインでの宣誓供述(DDJJ)。 入国14日目にワクチン接種を完了している非居住者外国人は、上記入国条件から③の隔離措置を免除。 入国14日目にワクチン接種を完了している隣国居住者は、上記入国条件から②の陰性証明書の提出と③の隔離措置を免除。 入国14日目にワクチン接種を完了しているアルゼンチン居住者は、ワクチン接種証明書とDDJJのみ必要。 ワクチン接種の例外：アルゼンチン人または居住者の家族(子供、親、配偶者、同居人など)、商用や教育目的の非居住者、スポーツ選手・スポーツイベントへの参加者、外交官や公務目的の公務員など。 | |

経済活動再開の状況

| 経済活動制限 |
|--|
| 主要規制・制限 |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆義務的一般ルール：最低2メートルのソーシャルディスタンスの確保、混雑する場所・屋内でのマスクの着用、閉鎖空間での適切かつ定期的な換気、積極的な手洗い、せき・くしゃみは肘で覆う、「陽性者」「感染の疑いのある者」「感染者の濃厚接触者」の移動を禁じる。ブエノスアイレス市は3月3日付で、オフィスなどでの消毒、衛生・安全確保のためプロトコル(手順書)を廃止した。マスクの着用義務は継続。 ◆21年10月1日から全ての経済活動の屋内の収容人数制限を撤廃。 ◆ディスコ、パーティ会場などの収容人数50%まで、入場に2度のワクチン接種が必要。スポーツなど大型イベントの収容人数制限はない。ただし、入場には最低1回のワクチン接種が必要。 ◆隔離期間：ワクチン接種者で陽性の場合は7日間。無症状の濃厚接触者は5日間。ワクチン未接種者で陽性の場合は10日間。無症状の濃厚接触者は10日間、または7日目に検査を受け、陰性となれば隔離を終了。地域によっては、ワクチン接種を完了した無症状の濃厚接触者の隔離期間は免除。 |
| 再開基準 |
| <p>衛生・疫学的リスクが「警戒・高・中」の地域を以下のとおり定めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆警戒：人口30万以上の都市で、集中治療室(ICU)病床使用率が80%以上、また最近7日間のICU病床使用率が7日間前に比べて20%以上上昇した場合。 ◆高：人口4万人以上で、①最近14日間の感染者数とその直前の14日間と比較して1.21倍以上増加。②最近14日間の10万人当たりの感染者数が150人以上。 ◆中：人口4万人以上で、①最近14日間の感染者数とその直前の14日間と比較して0.8~1.20倍まで増加。②最近14日間の10万人当たりの感染者数が50~149人に達した場合。 |
| 現地産業・企業の動き |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルディスタンスの確保、換気、従業員の衛生・安全確保を徹底することで経済活動はほぼ再開。 |



現地日系企業の活動状況

現地日系企業の抱える課題

操業状況

- ・ 現地日系企業数は約60社。多くはブエノスアイレス市およびブエノスアイレス州に拠点を構える。
- ・ 工場を構えるのは自動車および自動車部品製造業に限定される。製造業はブエノスアイレス州の例外業種に指定されたため2020年5月から操業を再開。
- ・ ブエノスアイレス市内のオフィスは在宅勤務が中心も2021年10月より一部出勤を開始。強制隔離措置なく出入国が可能な近接国への出張を開始する動きもあり。

サプライチェーン、物流への影響

- ・ 外貨準備高の不足により輸入決済用外貨の承認が下りにくくなっているため、消費財を中心に輸入に遅れが生じている。製造業向けの生産財の輸入にも遅れが生じている。

現在抱える課題、懸念

- ・ 新型コロナウイルス感染予防に伴う衛生管理体制、従業員の交通手段の確保。



現地政府の企業支援策

経済支援策 支援概要

- 生産回復プログラム (REPRO) II
- ・ 業種毎に設定された上限額を超えない範囲で従業員の給与を助成する。従業員の手取りの賃金が上限額を下回る場合は手取り額を上限とする。
 - ・ 2月分の従業員一人当たりの給付額は危機的状況にある業種および医療関連は最大2万2,000ペソ。危機的状況とみなされない業種は最大9,000ペソ。

出所：労働省決議938/2020号、同57/2021号、同266/2021号、同341/2021号、同488/2021号、同643/2021号、同739/2021号、同752/2021号、同49/2022号、同113/2022号など



ワクチン接種

| | | |
|-----------------|-----|----------------------|
| 累計接種者数 (接種率) | 1回目 | 4,059万6,055人 (89.7%) |
| | 2回目 | 3,691万4,380人 (80.9%) |
| | 3回目 | 1,888万9,079人 (41.1%) |

ワクチン分配数 1億408万8,194回接種分 出所:保健省他(3/27)

【ワクチンの接種状況】

- ・ 2021年9月29日から基礎疾患のない12歳から17歳の未成年、21年10月12日から基礎疾患のある3歳から11歳の未成年の接種を開始。その後、基礎疾患のない3歳から11歳の未成年の接種も開始。
- ・ 全国において2度の接種が完了してから4カ月後にブースター接種を実施。12歳から17歳の未成年のブースター接種も開始。

【ワクチンの認可状況】

- ・ 承認済のワクチンは、ロシア「スプートニクV」および「スプートニク・ライト」、ファイザー「コミナティ」、アストラゼネカ製（インド血清研究所の「コビシールド」含む）、シノファーム製、カンシノ製ワクチン。

【ワクチン確保の動き】

- ・ 3月16日までに1億1,641万9,205回接種分のワクチンを確保。内訳は、シノファーム製3,167万2,800回、アストラゼネカ製2,964万3,700回、スプートニクV2,097万9,335回、モデルナ製1,125万8,660回、ファイザー製2,116万710回、カンシノ製170万4,000回接種分。
- ・ 政府は2021年7月11日、米モデルナと約2,000万回接種分の購入契約。2022年第1四半期に到着予定。政府は2021年7月27日、米ファイザーと2,000万回接種分の購入で合意したと発表。2022年1月20日、米ファイザーと新たに合意し、1,850万回接種分を追加購入。主に5～11歳などの子供向け接種に利用される。

【その他】

- ・ ワクチンのデジタル接種証明の運用を9月6日から開始。国外へ移動する必要がある人が海外で提示することを目的に導入。

お問い合わせ

ジェトロ ブエノスアイレス事務所

TEL :54-11-5235-0977

Email: infobuenosaires@jetro.go.jp

新型コロナ関連のお問い合わせ

[ジェトロ・アルゼンチンページ](#)

新型コロナウィルス感染拡大の影響